

# TASCAM

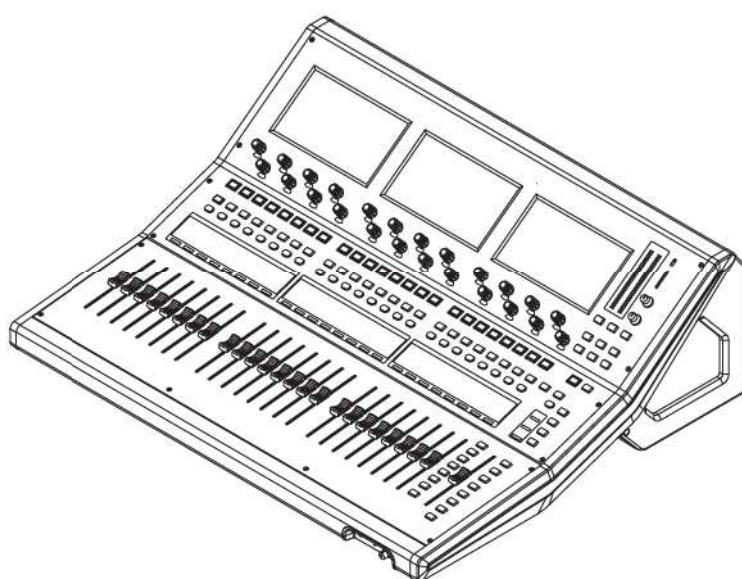
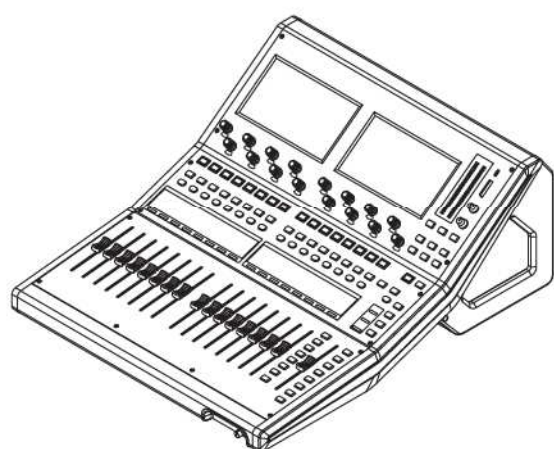
D01386500B

# Sonicview 16

# Sonicview 24

## Digital Mixer

OWNER'S MANUAL  
MODE D'EMPLOI  
MANUAL DEL USUARIO  
BEDIENUNGSANLEITUNG  
MANUALE DI ISTRUZIONI  
取扱説明書



ENGLISH

FRANÇAIS

ESPAÑOL

DEUTSCH



ITALIANO

日本語





# 取扱説明書

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<h3>警告</h3> <p>以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <b>電源プラグをコンセントから抜く</b>	<p>万一、異常が起きたら  煙が出たり、変なにおいや音がするときは  機器の内部に異物や水などが入ったときは  この機器を落としたり、カバーを破損したときは  すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。  お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <b>指示</b>	<p><b>電源プラグにほこりをためない</b>  電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。  定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>電源コードを傷つけない</b>  電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない  電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近付けて加熱したりしない  コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。  万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。</p>
	<p><b>付属の電源コードを他の機器に使用しない</b>  故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b>  この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して設置する</b>  隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p><b>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない</b>  火災・感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない</b>  内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <b>分解禁止</b>	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b>  カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。  内部の点検・修理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p><b>この機器を改造しない</b>  火災・感電の原因となります。</p>



	<b>警告</b>	以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意		イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないでください。
	<b>注意</b>	以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグ をコンセン トから抜く		<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 指示		<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止		<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止		<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 注意		<p>5年に1度は、機器内部の掃除をお買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

## 目次

安全にお使いいただくために .....	114
はじめに .....	116
リファレンスマニュアルについて .....	116
本製品の構成 .....	116
本書の表記 .....	116
設置上の注意 .....	117
電源について .....	117
結露について .....	117
製品のお手入れ .....	117
SDカードについて .....	117
取り扱い上の注意 .....	117
SDカードのライトプロテクトについて .....	117
フォーマットについて .....	117
アフターサービス .....	117
本機の特徴 .....	118
主な特徴 .....	118
主な仕様 .....	118
各部の名称 .....	119
トップパネル .....	119
フロントパネル .....	120
リアパネル .....	120
電源のオン／オフ .....	121
操作方法 .....	121
画面の構成 .....	121
基本操作 .....	123
設定 .....	124
マスタークロックとワード端子の設定 .....	124
初期設定 .....	124
Input Routing .....	124
Output Routing .....	124
Direct Out Routing .....	124
機能 .....	125
LAYER .....	125
Masterフェーダー .....	125
User Defined Control .....	125
User Defined Control機能一覧 .....	126
INPUTチャンネル .....	128
OUTPUTチャンネル .....	130
FX設定 .....	131
Snapshot機能 .....	132
トラブルシューティング .....	132
仕様／定格 .....	133
オーディオ性能 .....	133
アナログオーディオ入出力定格 .....	133
デジタルオーディオ入出力定格 .....	134
コントロール入出力定格 .....	134
その他の入出力定格 .....	134
レコーダー／プレイヤー部仕様 .....	134
一般 .....	135
ブロックダイアグラム .....	137
寸法図 .....	138

## はじめに

このたびは、TASCAM Digital Mixer Sonicview 16 / Sonicview 24をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、本書をいつでも見られる所に保管してください。  
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。



Sonicview 16  
[https://tascam.jp/int/product/sonicview\\_16/docs](https://tascam.jp/int/product/sonicview_16/docs)



Sonicview 24  
[https://tascam.jp/int/product/sonicview\\_24/docs](https://tascam.jp/int/product/sonicview_24/docs)

## リファレンスマニュアルについて

取扱説明書（本書）では、本機の概要について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。  
開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本体 .....x1
- 電源コード（JAPAN USA / EUROPE / OCEANIA）.....x3
- TASCAM ID登録ガイド .....x1
- 取扱説明書（本書、保証書付き）.....x1

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機には、操作可能なボタンがトップパネルのボタンとタッチスクリーンの画面表示ボタンの2種類あります。トップパネルにあるボタンを「MUTEキー」のように表記します。
- タッチスクリーンの下に並ぶ8つのつまみをLCDノブと呼び、左から順にLCDノブ1～LCDノブ8と表記します。
- 「SDHC/SDXCメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。



## メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

## 注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## ⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

## 設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
- 放熱のため、リアパネルやサイドパネルの通風孔をふさがないようにください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

## 電源について

- 付属の電源コードをAC IN端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V (50-60Hz) 以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

## メモ

本機には、3種類の電源コードが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合った電源コードをご使用ください。

## 結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

## SDカードについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。使用できるSDカードは、Class 10以上のSDHC / SDXC規格に対応したSDカードです。本機にて動作が確認されたSDカードのリストが、TASCAMのウェブサイトに掲載されています。本機の製品ページをご参照ください。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

## 取り扱い上の注意

SDカードは、精密にできています。SDカードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

## SDカードのライトプロテクトについて

本機は、録音／再生フォルダーの設定情報をメディアに書き込みます。ライトプロテクトをされたSDカードには設定情報の書き込みなどができないため、再起動時に録音／再生フォルダーの設定を保持していないなどの影響が出ます。

## フォーマットについて

本機でフォーマットされたSDカードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用するSDカードは本機でフォーマットを行ってください。パソコンなどでフォーマットされたSDカードは、本機での録音時にエラーになる可能性があります。

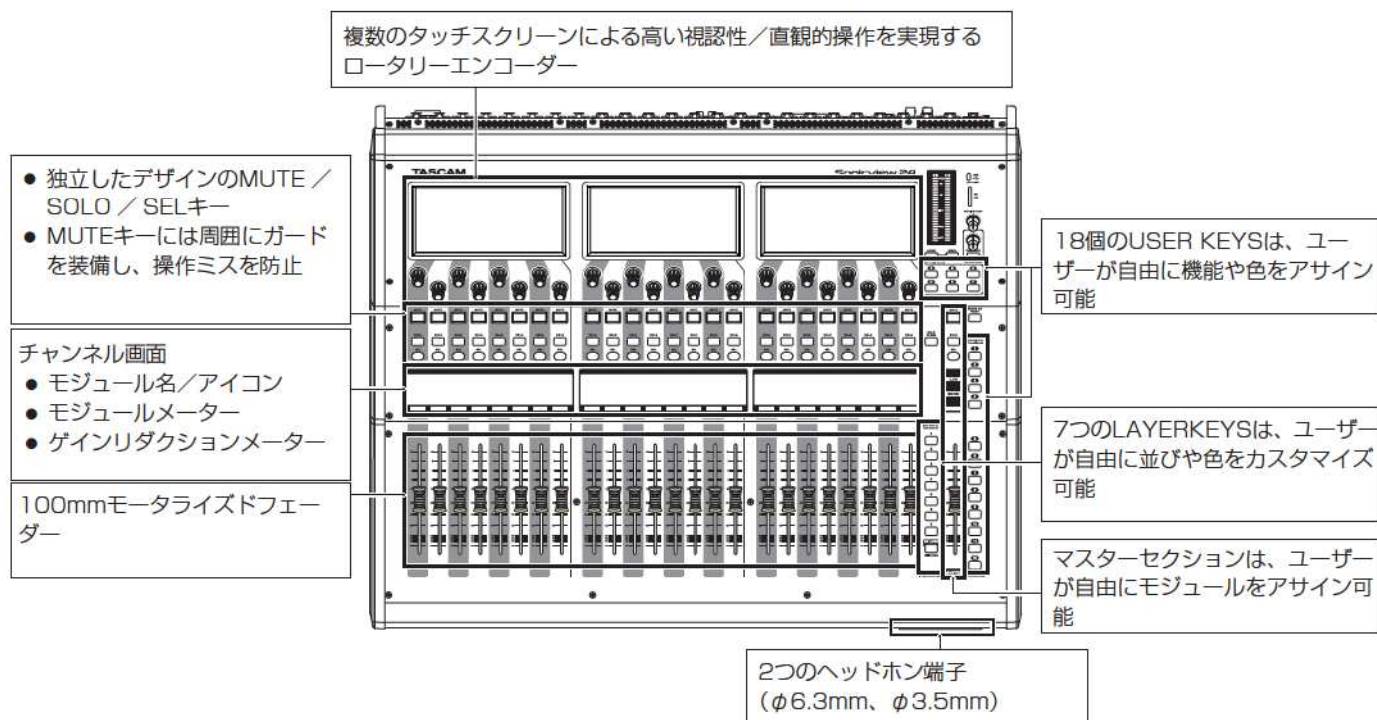
## アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  - 型名、型番 (Sonicview 16 / Sonicview 24)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げの年月日
  - お買い上げの販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 本機の特徴

### 主な特徴

8つのLCDノブを備えたタッチスクリーンを8つのチャンネルモジュールごとに装備し、各チャンネルの各種パラメーターを同時に俯瞰・確認しながら直観的な操作ができます。



### 主な仕様

#### 同時処理能力

- 入力：モノラル 40チャンネル、ステレオ 2チャンネル
- 出力バス：AUX/GROUP切り換え可能な22のバスとステレオメインバス
- 4つの内蔵FX、4つのFX Sendバス、4つのステレオFX Returnチャンネル

#### 入出力ポート

- 16または24マイク／ライン入力
- 2ステレオRCA入力
- 16アナログライン出力
- ステレオアナログMONITOR出力
- リダンダント対応のDante I/Oポート
- 2つの拡張スロット
- 32入力、32出力のUSB Audio I/Fポート

#### 内部処理

- 96kHz / 浮動小数点54bit演算



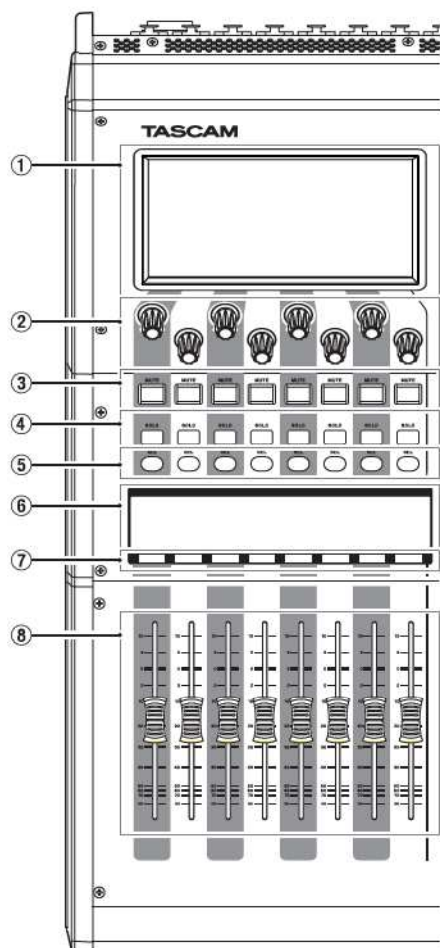
## 各部の名称

### トップパネル

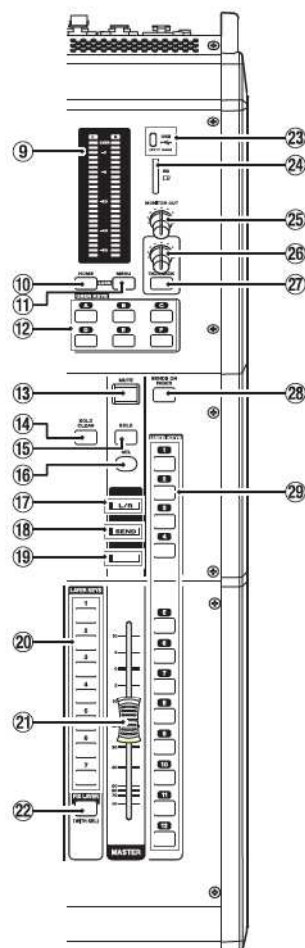
#### メモ

インジケーター付きの各種キーは、消灯時も淡く光り、暗い場所での視認性・操作性を確保しています。

#### チャンネルセクション



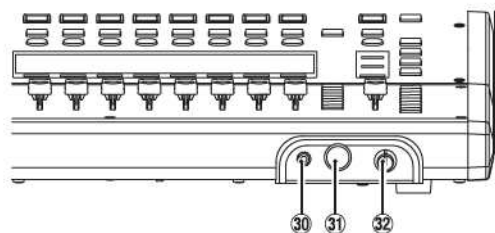
#### マスターセクション



- ① タッチスクリーン
- ② LCDノブ／インジケーター
- ③ MUTEキー／インジケーター
- ④ SOLOキー／インジケーター
- ⑤ SELキー／インジケーター
- ⑥ チャンネル画面
- ⑦ チャンネルカラーバー
- ⑧ チャンネルフェーダー
- ⑨ OUTPUTメーター
- ⑩ HOMEキー
- ⑪ MENUキー
- ⑫ USER KEYS A-Fキー／インジケーター
- ⑬ MUTEキー／インジケーター (MASTER)
- ⑭ SOLO CLEARキー／インジケーター
- ⑮ SOLOキー／インジケーター (MASTER)

- ⑯ SELキー／インジケーター (MASTER)
- ⑰ L/Rインジケーター
- ⑱ SENDインジケーター
- ⑲ カラーバー (MASTER)
- ⑳ LAYER KEYS 1-7キー／インジケーター
- ㉑ MASTERフェーダー
- ㉒ FIX LAYERキー／インジケーター
- ㉓ USB端子 (5V --- 0.5A)
- ㉔ SDカードスロット
- ㉕ MONITOR OUTボリューム
- ㉖ TALKBACKボリューム
- ㉗ TALKBACKキー／インジケーター
- ㉘ SENDS ON FADERキー／インジケーター
- ㉙ USER KEYS 1-12キー／インジケーター

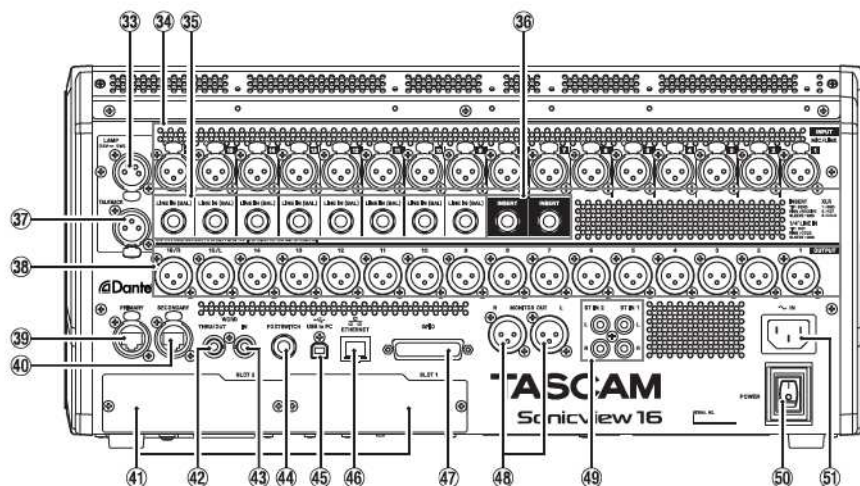
## フロントパネル



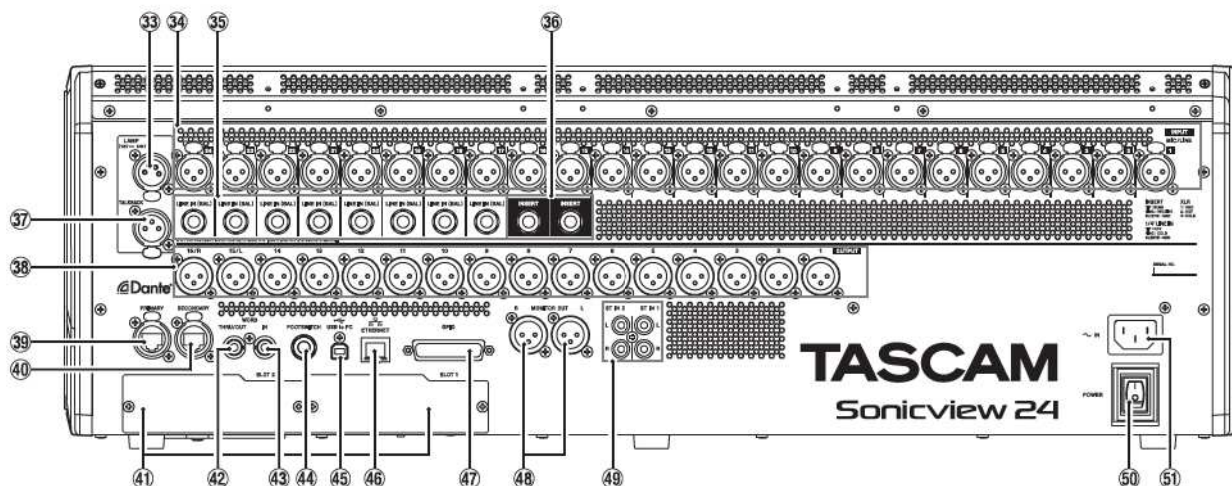
- ③① ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック)
- ③② ヘッドホン端子 (ステレオフォンジャック)
- ③③ ヘッドホンボリューム

## リアパネル

### Sonicview 16



### Sonicview 24



- ③③ LAMP端子
- ③④ MIC/LINE入力端子
- ③⑤ LINE IN (BAL) 端子 (TRSフォンジャック)
- ③⑥ INSERT端子 (TRSフォンジャック)
- ③⑦ TALKBACK入力端子
- ③⑧ アナログ出力端子
- ③⑨ Dante PRIMARY端子
- ③⑩ Dante SECONDARY端子
- ④① 拡張カードスロット (SLOT 1 / SLOT 2)
- ④② WORD THRU/OUT端子
- ④③ WORD IN端子
- ④④ FOOTSWITCH端子
- ④⑤ USB to PC端子
- ④⑥ ETHERNET端子
- ④⑦ GPIO端子
- ④⑧ MONITOR OUT L / R端子
- ④⑨ ST IN 1 / ST IN 2端子
- ⑤① POWERスイッチ
- ⑤② AC IN端子



## 電源のオン／オフ

### △注意

- 本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

### 電源を入れる前に

1. AC IN端子 (51) に付属のACコードを接続します。
2. MIC/LINE入力端子 (34)、LINE IN(BAL)端子 (35)、ST IN1 L/R端子 (49)、ST IN2 L/R端子 (49) に入力ソースを接続します。
3. アナログ出力端子 (38)、MONITOR OUT L/R端子 (48) にモニタースピーカー (パワードモニタースピーカーまたはアンプ/スピーカーシステム)、または他のラインレベル入力に接続します。
4. 必要に応じて、USB端子 (45) を使用して外部機器やコンピューターなどを接続します。
5. FOOTSWITCHやGPIOを使用する場合には、FOOTSWITCH端子 (44) やGPIO端子 (47) に接続します。

### メモ

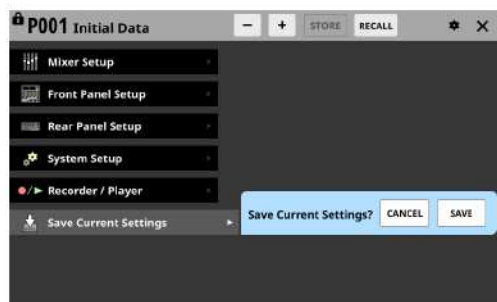
本機には、3種類の電源コードが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合った電源コードをご使用ください。

### 電源をオンにする

1. POWERスイッチ (50) で本機の電源をオンにします。
2. 接続されているモニタースピーカー (パワードモニタースピーカーまたはアンプ/スピーカーシステム) の電源を入れます。

### 電源をオフにする

1. 接続されているアンプやパワードスピーカーの電源を切ってください。
2. MENUキー (11) を押してメニュー画面を表示し、Save Current Settings項目をタップします。



3. SAVEボタンをタップして、現在の設定を内蔵メモリーに保存します。
4. POWERスイッチ (50) で本機の電源をオフにします。

### △注意

本機が動作中（録音中、再生中、SDカードやUSBメモリーにデータを書き込み中、内蔵メモリーに設定を保存中など）は、電源を切る、または電源コードを抜かないでください。録音が正しく行われなかったり、録音したデータが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になるなどの可能性があります。

## 操作方法

### 画面の構成

#### タッチスクリーンとLCDノブの関係

LCDノブを使用して、その上のタッチスクリーンに表示／選択されているパラメーターを操作します。

操作可能なLCDノブは、対応するインジケーターが点灯します。



### 主な画面

#### ホーム画面（全タッチスクリーンに表示）



- 起動直後にタッチスクリーンに表示されるチャンネルストリップが並んだ画面を「ホーム画面」と呼びます。
- ホーム画面は、トップパネルのHOMEキー (10) を押して表示します。
- 複数モジュールの主要パラメーターの表示／操作、および各種メーターの表示を行います。
- パラメーターをタップして選択し、LCDノブ (2) で調整することができます。

## ホーム画面での各種パラメーターの設定

ホーム画面の(A) / (C) / (D)のエリアをタップすると、選択枠が表示されます。

タップしたエリアが選択状態になり、LCDノブ(②)を使って設定できるようになります。



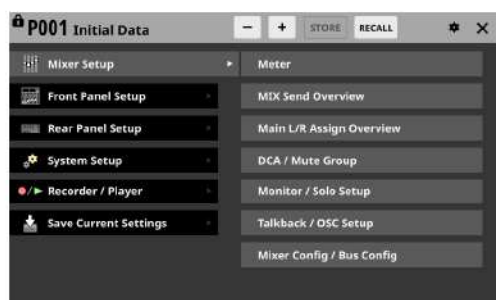
- (A) INPUT / FX / OUTPUTエリア
- (B) GATE / EQ / GEQ / COMPエリア
- (C) SENDエリア
- (D) PANエリア
- (E) NAMEエリア

## MODULE 画面 (全タッチスクリーンに表示)



- トップパネルのSELキー(⑤、⑩)や、ホーム画面のグラフや選択枠のタップで表示します。
- 選択したモジュールのミキサーパラメーターの表示/操作と各種メーターの表示を行います。
- パラメーターをタップして選択し、LCDノブで調整することができます。

## メニュー画面 (右端のタッチスクリーンに表示)

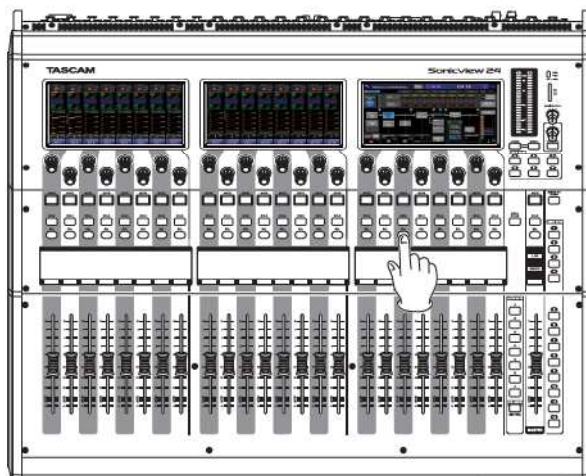


- 各種システム設定などは、トップパネルのMENUキー(⑪)を押して右端のタッチスクリーンに表示するメニュー画面で調整します。
- メニューの構成は、以下の通りです。各メニュー項目の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

メニュー項目	サブメニュー項目
Mixer Setup	Meter
	MIX Send Overview
	Main L/R Assign Overview
	DCA / Mute Group
	Monitor / Solo Setup
	Talkback / OSC Setup
	Mixer Config / Bus Config
Front Panel Setup	User Key Setup
	Layer / Master Fader Setup
	Talkback Setup
Rear Panel Setup	Brightness
	Dante Setup
	Slot Setup
	WORD OUT Mode Setup
	Network Setup
	FOOT SW Setup
	GPIO Input Setup
	GPIO Output Setup
	LAMP Dimmer Setup
System Setup	Info
	Sync Clock
	Preferences
	Media Manage
	All System Data
	Clock Adjust
	Version Information
Recorder / Player	Firmware Update
	Recorder / Player
Save Current Settings	

## チャンネルモジュールとタッチスクリーンの関係

- チャンネルモジュール (Fader / SEL / SOLO / MUTE) 上部のタッチスクリーンにチャンネルモジュールに対応したホーム画面が表示されます。
- 操作したSELキー(⑥) 上部のタッチスクリーンにMODULE画面が表示されます。





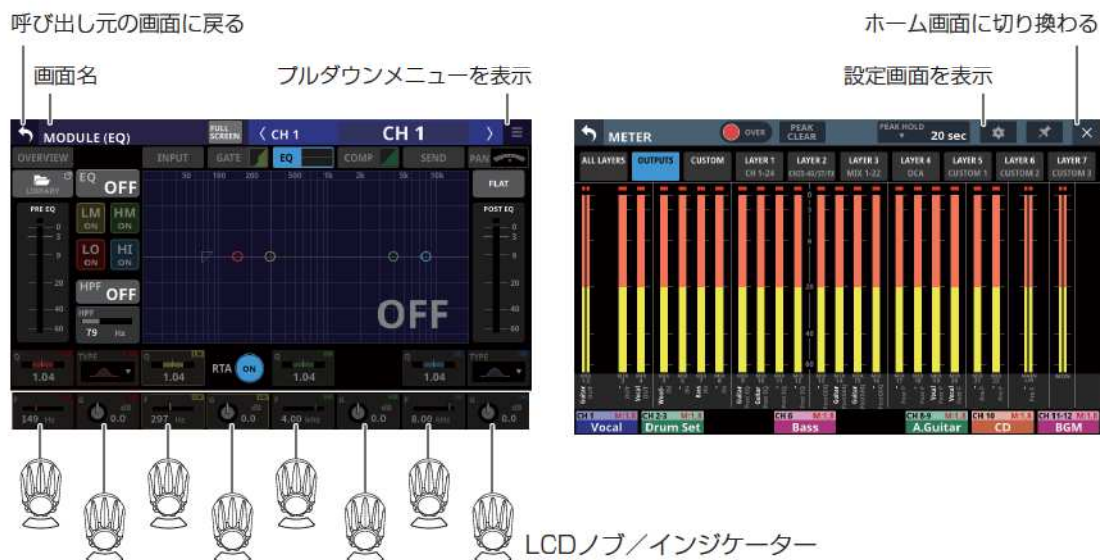
## 基本操作

### タッチスクリーン操作

タッチスクリーン上で操作したい項目をタップ/スワイプして操作します。

### 特別なタッチスクリーン操作

タッチし続ける	+48Vボタンは、タッチし続けることでON/OFFが切り換わります。
タップする/タッチし続ける	MONITOR SETUP画面のMONITOR / SOLOタブ画面のDIMボタン、およびTALKBACK / OSCILLATORタブ画面のTALKBACKボタンは、タップするとオン/オフを切り換え、タッチし続けるとタッチしている間だけオンになります。



### LCDノブ操作

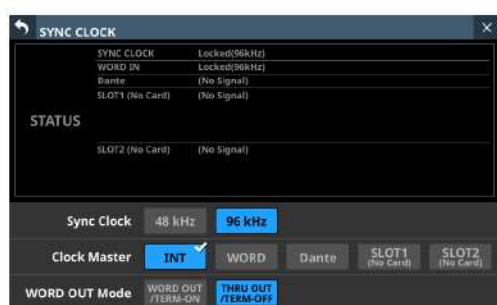
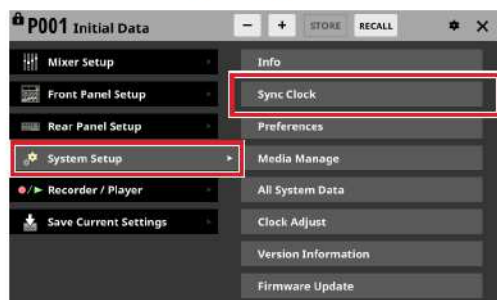
LCDノブを使用して、その上のタッチスクリーンに表示/選択されているパラメーターを操作します。操作可能なLCDノブは、対応するインジケータが点灯します。

LCDノブ操作の種類	説明
押さずに回す	1クリックで1ステップずつ細かく調節できます。
押しながら回す	パラメーターを端から端まで素早く調節できます。

## 設定

### マスタークロックとワード端子の設定

本機のマスタークロックとWORD端子を設定するには、MENUキー(⑩)を押してメニュー画面を表示し、System SetupメニューのSync clock項目で表示するSYNC CLOCK画面で行います。



### 初期設定

すべての信号処理やルーティングなどの設定を初期設定の状態にするには、メニュー画面上部の / ボタンを使って「P001 Initial Data」を選択し、RECALLボタンをタップして呼び出します。



### Input Routing

入力チャンネルのルーティング設定を確認／変更するには、CH1-40モジュールまたはST IN 1-2モジュールのホーム画面上部のINPUTエリア(122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の⑨エリア)をタップして選択枠を表示し、再度選択枠をタップしてMODULE (INPUT) 画面に切り換えます。



### Output Routing

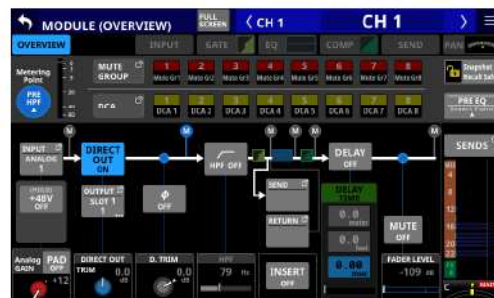
出力端子のルーティング設定を確認／変更するには、MIX1-22モジュールのホーム画面上部のOUTPUTエリア(122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の⑩エリア)をタップしてMODULE (OUTPUT) 画面に切り換えます。

MAIN L/Rの出力端子のルーティング設定を確認／変更するには、マスターセクションのSELキー(⑩)を押してMAIN L/RマスターモジュールのMODULE画面に切り換え、画面上部の画面選択ボタンの「OUTPUT」をタップして、MODULE (OUTPUT) 画面に切り換えます。



### Direct Out Routing

Direct Outのルーティング設定を確認／変更するには、CH1-40のホーム画面のNAMEエリア(122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の⑩エリア)をタップしてMODULE (OVERVIEW) 画面を表示し、画面内のDIRECT OUT TRIMボリューム上部のOUTPUTボタンをタップして、DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換えます。





## 機能

### LAYER

7つのLAYERにチャンネルセットやカスタムレイヤーを自由に並べて割り当てることができ、LAYER KEYSで切り換えて柔軟にモジュールを呼び出すことが可能です。

LAYER KEYS 1-7キー (20) の設定は、メニュー画面 > Front Panel Setupメニュー > Layer / Master Fader Setup項目で表示するLayer Key Setup画面で行います。

#### LAYER KEYS 1-7キーの初期設定

##### Sonicview 16のアサイン設定

キー	割り当て機能
LAYER KEYS 1	CH 1-16
LAYER KEYS 2	CH 17-32
LAYER KEYS 3	CH 33-40 / ST IN / FX RTN
LAYER KEYS 4	MIX 1-16
LAYER KEYS 5	MIX 17-22 / MAIN L/R
LAYER KEYS 6	DCA
LAYER KEYS 7	CUSTOM 2

##### Sonicview 24のアサイン設定

キー	割り当て機能
LAYER KEYS 1	CH 1-24
LAYER KEYS 2	CH 25-40 / ST IN / FX RTN
LAYER KEYS 3	MIX 1-22 / MAIN L/R
LAYER KEYS 4	DCA
LAYER KEYS 5	CUSTOM 1
LAYER KEYS 6	CUSTOM 2
LAYER KEYS 7	CUSTOM 3

### Masterフェーダー

Masterフェーダーには、任意のモジュールを割り当てることができます (初期設定: MAIN L/R)。

Masterフェーダー設定は、メニュー画面 > Front Panel Setupメニュー > Layer / Master Fader Setup項目で表示するCustom Layer SETUPタブ画面で行います。



## User Defined Control

18個のUSER KEYS、フットスイッチ、8入力8出力のGPIOポートに様々な機能や動作を割り当てることができます。

USER KEYSの設定は、メニュー画面 > Front Panel Setupメニュー > User Key Setup項目で表示するUser Key タブ画面で行います。



フットスイッチの設定は、メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー > FOOT SW Setup項目で表示するFoot Switchタブ画面で行います。

#### USER KEYS A-Fキー / USER KEYS 1-12キーの初期設定

キー	点灯色	割り当て機能
USER KEYS A	緑	Monitor Source Select 1 (MAIN L/R)
USER KEYS B	緑	Monitor Source Select 2 (MIX15-16)
USER KEYS C	赤	Monitor MUTE
USER KEYS D	緑	Monitor Source Select 3 (MIX 1)
USER KEYS E	緑	Monitor Source Select 4 (MIX 11-12)
USER KEYS F	オレンジ	Monitor DIM
USER KEYS 1	赤	Mute Group 1
USER KEYS 2	赤	Mute Group 2
USER KEYS 3	赤	Mute Group 3
USER KEYS 4	赤	Mute Group 4
USER KEYS 5	オレンジ	Sends On Fader Mix1
USER KEYS 6	オレンジ	Sends On Fader Mix2
USER KEYS 7	オレンジ	Sends On Fader Mix3
USER KEYS 8	オレンジ	Sends On Fader Mix4
USER KEYS 9	オレンジ	Sends On Fader Mix5
USER KEYS 10	オレンジ	Sends On Fader Mix6
USER KEYS 11	オレンジ	Sends On Fader Mix7
USER KEYS 12	オレンジ	Sends On Fader Mix8

#### フットスイッチの初期設定

割り当て機能
Tap Tempo FX3 Delay 1

## GPIO設定

GPIO設定は、メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー > GPIO Input Setup項目 / GPIO Output Setup項目で表示するGPIO-INタブ画面 / GPIO-OUTタブ画面で行います。ピンアサインは、以下の通りです。

Pin No.	機能	IN / OUT
1	GND	—
2	GPIO IN 2	IN
3	GPIO IN 4	IN
4	GPIO IN 6	IN
5	GPIO IN 8	IN
6	NC	—
7	NC	—
8	NC	—
9	GPIO OUT 2	OUT
10	GPIO OUT 4	OUT
11	GPIO OUT 6	OUT
12	GPIO OUT 8	OUT
13	NC	—
14	GPIO IN 1	IN
15	GPIO IN 3	IN

Pin No.	機能	IN / OUT
16	GPIO IN 5	IN
17	GPIO IN 7	IN
18	NC	—
19	NC	—
20	GND	—
21	GPIO OUT 1	OUT
22	GPIO OUT 3	OUT
23	GPIO OUT 5	OUT
24	GPIO OUT 7	OUT
25	+5V	—

IN：コマンド入力用

- 内部回路で+5Vにプルアップ
- 50msec以上のLOW信号の入力で動作

OUT：コマンド / タリー出力用

- 内部回路は、オープンコレクタ（出力インピーダンス：10Ω）
- 耐圧20V、最大電流35mA

+5V：最大供給電流 50mA

## User Defined Control機能一覧

User Defined Control（User Key / Foot Switch / GPIO IN / GPIO OUT）にアサインできる機能は、以下の通りです。これらの機能は、USER DEFINED CONTROLS画面で各Controlにアサインできます。

User Keyタブ画面 / Foot Switchタブ画面 / GPIO-INタブ画面

Function	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	機能説明
Tap Tempo	FX1-4	Delay 1-3		選択したエフェクトのタイプがDELAYのとき、DELAY TIMEをタップテンポ入力します。
Mute Group	1-8			選択したMute Groupのオン / オフを切り換えます。
Sends On Fader	Mix1-22 / FX1-4			選択したバスのSends On Faderモードのオン / オフを切り換えます。
Snapshot	Select	Next		メニュー画面上部に表示されたSTORE / RECALL対象のSnapshot番号を1つ増やします。
		Prev		メニュー画面上部に表示されたSTORE / RECALL対象のSnapshot番号を1つ減らします。
		No	1-128 / P001-Pxxx	指定番号のSnapshotをメニュー画面上部に表示し、STORE / RECALL対象にします。
	Recall	Selected		メニュー画面上部に表示されたRECALL対象の番号のSnapshotをRECALLします。
		Next		メニュー画面上部に表示されたRECALL対象のSnapshot番号を1つ後に存在するSnapshotの番号にしてからRECALLします。
		Prev		メニュー画面上部に表示されたRECALL対象のSnapshot番号を1つ前に存在するSnapshotの番号にしてからRECALLします。
		No	1-128 / P001-Pxxx	指定番号のSnapshotをRECALLします。
		+Target Key		Function:Snapshot / Parameter1:Targetを設定されたキーとの同時押しで、Function:Snapshot / Parameter1:Targetで設定された番号のSnapshotをRECALLします。



Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Snapshot	Store	Selected		メニュー画面上部に表示されたSTORE対象の番号にSnapshotをSTOREします。
		No	1-128	指定番号のSnapshotにSTOREします。
		+Target Key		Function:Snapshot / Parameter1:Targetを設定されたキーとの同時押しで、Function:Snapshot / Parameter1:Targetで設定された番号にSnapshotをSTOREします。ただし、Function:Snapshot / Parameter1:TargetのParameter2が「Next」または「Prev」に設定されたキーとの同時押しの場合は動作しません。
	Target	Selected		メニュー画面上部に表示されたSTORE / RECALL対象のSnapshot番号を、同時押しSTORE / RECALL対象にします。
		Next		メニュー画面上部に表示されたSTORE / RECALL対象の1つ後に存在するSnapshotの番号を、同時押しRECALL対象にします。
		Prev		メニュー画面上部に表示されたSTORE / RECALL対象の1つ前に存在するSnapshotの番号を、同時押しRECALL対象にします。
		No	1-128/P001-Pxxx	指定番号のSnapshotを、同時押しSTORE / RECALL対象にします。
	Undo/Redo	Undo Color	Redo Color	Snapshot RECALLのUndo / Redoを実施します。 Undo / Redoが実施可能な状態で、USER KEYを点灯させる色をParameter2 / 3に設定します。 Undo Color / Redo Colorの設定は、USER KEYでのみ設定可能です。
Screen	TALKBACK/ OSCILLATOR			MONITOR SETUP画面のTALKBACK / OSCILLATORタブ画面を右端タッチスクリーンに表示し、該当USERキーを点灯します。この画面が表示されているときに該当USERキーを押すと、この画面を閉じます。
	METER	ALL LAYER OUTPUT LAYER1-7 LAST TAB		METER画面のParameter2で指定したタブ画面を右端タッチスクリーンに表示し、該当USERキーを点灯します。この画面が表示されているときに該当USERキーを押すと、この画面を閉じます。
Talkback	ON/OFF			TALKBACKのオン/オフを切り換えます。
Monitor Source Select	Monitor Select 1-6			指定番号のMonitor Selectを選択状態にします。
Monitor Control	MUTE			モニター信号のMUTEのオン/オフを切り換えます。
	DIM			モニター信号のDIMのオン/オフを切り換えます。
SEND ON/OFF	CH 1-40 ST IN 1-2 FX RTN 1-4 MIX 1-22 MAIN L/R	MIX 1-22 FX 1-4		Parameter1で指定したモジュールからParameter2で指定したバスへのSENDのON / OFFを切り換えます。 該当設定がオンの場合、キーが点灯します。

## メモ

- Foot Switch / GPIO-IN :
  - Mute Group、Talkback、Monitor Control、SEND ON/OFF機能アサイン時：Lowレベル信号を入力している間、選択した機能がアクティブになります。また、同一機能が複数のGPIO-IN、フットスイッチにアサインされている場合は、いずれか1つの対象GPIO-IN、フットスイッチの信号がLowレベルならばアクティブ、すべての対象GPIO-IN、フットスイッチの信号がHighレベルならばインアクティブ（OR動作）となります。
  - その他の機能アサイン時：50ms以上のLowレベル信号を入力すると、選択した機能が動作します。
- この機能でSTOREしたSnapshot名は、「USER KEY」に3桁のロット番号が追加されたものとなります。（例：USER KEY 018）
- Function = Snapshot / Parameter2 = Noに設定されている場合、Parameter3がカレントSnapshot番号と一致したら、該当USERキーが点灯します。

## GPIO-OUTタブ画面

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Fader Start	CH 1-40 ST IN 1-2 FX RTN 1-4 MIX 1-22 MAIN L/R			指定モジュールが下記の状態になったときに、パルス信号を出力します（Active Low / パルス幅150ms）。 ● MUTEが「オフ」の状態、FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値以下からフェーダースタートレベル設定値を超えたレベルに変化したとき ● FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値を超えている状態で、MUTEが「オン」から「オフ」に変化したとき
Fader Stop	CH 1-40 ST IN 1-2 FX RTN 1-4 MIX 1-22 MAIN L/R			指定モジュールが下記の状態になったときに、パルス信号を出力します（Active Low / パルス幅150ms）。 ● MUTEが「オフ」の状態、FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値を超えたレベルからフェーダースタートレベル設定値以下に変化したとき ● FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値を超えている状態で、MUTEが「オフ」から「オン」に変化したとき
Fader Start/Stop	CH 1-40 ST IN 1-2 FX RTN 1-4 MIX 1-22 MAIN L/R			指定モジュールのMUTEが「オフ」、かつFADERレベルがフェーダースタートレベル設定値を超えているときにLOWレベル信号をラッチ出力します。

## INPUTチャンネル

### INPUTチャンネルの種類概要

#### CH1-40

2系統のDynamicsとEQが装備された、モノラル/ステレオ切り換え式の入力モジュールです。

#### ST IN1-2

EQが装備された、ステレオ専用入力モジュールです。

#### FX RTN1-4

EQが装備された、エフェクトリターン専用のステレオ入力モジュールです。

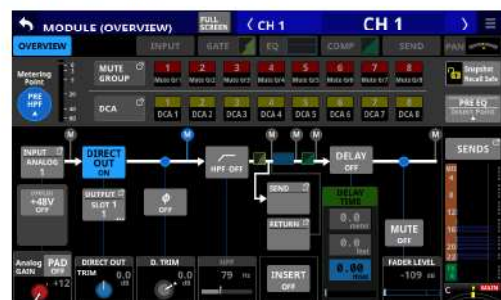
### 入力端子のアサイン (Input Routing)

入力チャンネルのルーティング設定を確認/変更するには、CH1-40モジュールまたはST IN 1-2モジュールのホーム画面上部のINPUTエリア（122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」のAエリア）をタップして選択枠を表示し、再度選択枠をタップしてMODULE (INPUT) 画面に切り換えます。



### ダイレクトアウトの設定 (Direct Out Routing)

Direct Outのルーティング設定を確認/変更するには、CH1-40のホーム画面のNAMEエリア（122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」のEエリア）をタップしてMODULE (OVERVIEW) 画面を表示し、画面内のDIRECT OUT TRIMボリューム上部のOUTPUTボタンをタップして、DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換えます。






## 入力レベル調節 (GAIN / PAD / +48V / Φ)

- CH1-40モジュールおよびST IN1-2モジュールのホーム画面のINPUTエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の①エリア) をタップして選択枠を表示すると、LCDノブ (②) を使って表示中のパラメーターを調節することができます。  
入力ソースに「ANALOG」が選択されている場合は、アナログ入力端子からの入力レベルを調節します。  
入力ソースに「ANALOG」以外が選択されている場合は、D.TRIMを調節します。
- INPUTエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の①エリア) に選択枠が表示されている状態でタップすると、MODULE (INPUT) 画面に切り換わります。この画面では、入力ソース/入力レベル/ PAD /ファントム電源/位相 (Φ) などを設定することができます。

## GATE / EQ / COMP






各モジュールのホーム画面のGATE / EQ / COMPエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の②エリア) をタップすると、MODULE (GATE) 画面、MODULE (EQ) 画面、MODULE (COMP) 画面に切り換わります。これらの画面でタッチスクリーン (①) やLCDノブ (②) を使って、GATE / EQ / COMPの設定を行います。また、各MODULE画面のLIBRARYボタンから呼び出す各LIBRARY画面で、プリセットデータのRecallや、現在の設定のStoreをすることができます。


## SENDレベル調節

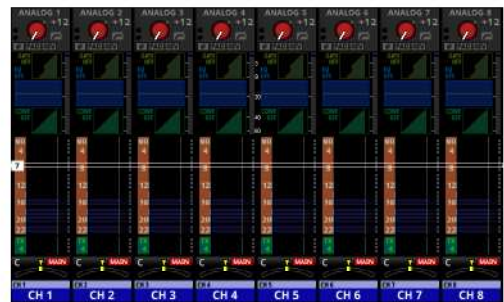
- ホーム画面のSENDエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の③エリア) をタップして選択枠を表示すると、選択したMIX1-22バス/ FX1-4バスへのSENDレベルを、LCDノブ (②) で設定することができます。
- ホーム画面のSEND/PANボタンをタップすると、タップしたチャンネルモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。この画面では、選択したチャンネルモジュールのSEND LEVEL、ON/OFF、PRE/POSTおよびPAN/BALが調節できます。ステレオ入力モジュールの場合はMODE、IMAGEの調節もできます。Pre/Post設定を切り換えるには、この画面のPRE/POST SETTINGSボタンを押します。
- ホーム画面左端の  ボタンをタップすると、SENDエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の③エリア) に表示するバスの選択ウィンドウが表示されます。



バス選択ボタン

- バス選択ボタンをタップすると、選択されたバス群をSENDエリアに表示します。
- 選択ウィンドウ左上の  ボタンをタップすると、ウィンドウを閉じます。
-  ボタンがオフ (  ) のとき、バス選択ボタンをタップすると自動的にこのウィンドウを閉じます。
-  ボタンがオン (  ) のとき、バス選択ボタンをタップしてもこのウィンドウを閉じずに表示を維持します。

- ホーム画面右端のALL SEND (  ) ボタンをタップすると、SENDエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の③エリア) がMIX1-22バス/ FX1-4バスへのすべてのSENDレベル表示に切り換わります。この表示をタップすると、タップしたエリアのバスが4つ表示された状態に切り換わります。



## PAN設定

ホーム画面のPANエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の④エリア) をタップして選択枠を表示すると、LCDノブ (②) でPANの設定ができます。

## MAIN L/Rアサイン

- ホーム画面のPANエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の④エリア) のパン/バランス設定表示右上にMAIN L/Rバスへのアサイン状態が表示されます。
- ホーム画面のPANエリアの選択枠をタップすると、タップしたチャンネルモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。MAIN L / Rバスへのアサイン設定を変更するには、この画面右下のL/Rボタンを押します。

## メモ

メニュー画面 > Mixer Setupメニュー > Main L/R Assign Overview項目で表示するMAIN L/RマスターモジュールのSEND OVERVIEW画面のON/OFF (INPUT) タブ画面でも、アサインの確認または変更することができます。

## MUTEキー

MUTEキー (③) を押すと、MUTEのオン/オフを切り換えます。このキーがオン (キー点灯) のとき、対応モジュールの信号がMUTEされます。

## SOLOキー

工場出荷時の設定では、SOLOキー (④) を押した複数のチャンネルモジュールの信号をミックスしてソロモニターできます。SOLOの設定は、メニュー画面 > Mixer Setupメニュー > Monitor/Solo Setup項目で表示するMONITOR SETUP画面で変更することができます。



## メモ

MENUキー (⑪) を押しながら以下のキーを押すと、MONITOR SETUP画面のMONITOR/SOLOタブ画面を呼び出すこともできます。

- MENUキー (⑪) を押しながら、いずれかのSOLOキー (④) を押す
- MENUキー (⑪) を押しながら、SOLO CLEARキー (⑭) を押す



## SELキー

チャンネルセクションのSELキー (⑤) またはマスターセクションのSELキー (⑩) を押すと、選択したチャンネルのMODULE画面に切り換わります。

MODULE画面上部の任意の画面選択ボタンをタップし、タッチスクリーン (①) やLCDノブ (②) を使って各種パラメーターを設定します。

## フェーダー

Sonicview 16の16本、Sonicview 24の24本のチャンネルフェーダーは、下記のバスへのSENDレベルを表示します。

- SENDS ON FADERキー (⑳) がオフ (キー消灯) のときは、MAIN L/Rバス
- SENDS ON FADERキー (⑳) がオン (キー点灯) のときは、選択したMIX SENDバス / FX SENDバス

LAYER KEYS 1-7キー (㉑) を使用してレイヤーを切り換え、フェーダー操作子を使って各モジュールのレベルを調節します。MASTERフェーダー (㉒) は、選択したバスのマスター SENDレベルをコントロールします。

## OUTPUTチャンネル

### OUTPUTチャンネルの種類概要

#### MIX1-22

EQ / GEQ / Dynamicsが装備された、モノラル/ステレオ切り換え式の出力モジュールです。

#### MAIN L/R

EQ / GEQ / Dynamicsが装備された、ステレオメインバス出力モジュールです。


#### EQ / GEQ / COMP

各モジュールのホーム画面のEQ / GEQ / COMPエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の㉔エリア) をタップすると、MODULE (EQ) 画面、MODULE (GEQ) 画面、MODULE (COMP) 画面に切り換わります。これらの画面でタッチスクリーン (①) やLCDノブ (②) を使って、EQ / GEQ / COMPの設定を行います。また、各MODULE画面のLIBRARYボタンから呼び出す各LIBRARY画面で、プリセットデータのRecallや、現在の設定のStoreをすることができます。

### SENDレベル調節


- ホーム画面のSENDエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の㉔エリア) をタップして選択枠を表示すると、選択したMIX1-22バス / FX1-4バスへのSENDレベルを、LCDノブ (②) で設定することができます。
- ホーム画面のSEND/PANボタンをタップすると、タップしたチャンネルモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。この画面では、選択したチャンネルモジュールのSEND LEVEL、ON/OFF、PRE/POSTおよびPAN/BALが調節できます。ステレオ入力モジュールの場合はMODE、IMAGEの調節もできます。Pre/Post設定を切り換えるには、この画面のPRE/POST SETTINGSボタンを押します。

## Copy / Paste

MODULE画面右上の  ボタンをタップすると、MODULEメニューをプルダウン表示します。









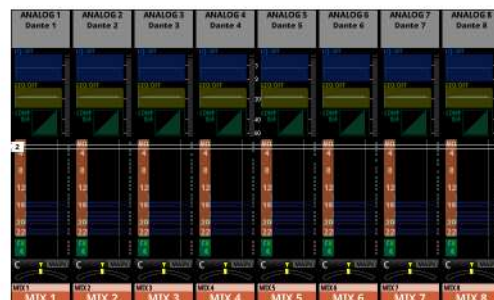
MODULEメニューでパラメーターのCopy / Pasteができます。Copy / Paste対象のパラメーターは、表示しているMODULE画面によって異なります。選択したチャンネルモジュールのすべてのパラメーターをCopy / Pasteしたい場合は、このMODULEメニューのCopy MODULE / Paste MODULEを実施します。

- ホーム画面左端の  ボタンをタップすると、SENDエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の㉔エリア) に表示するバスの選択ウィンドウが表示されます。



バス選択ボタン

- バス選択ボタンをタップすると、選択されたバス群をSENDエリアに表示します。
- 選択ウィンドウ左上の  ボタンをタップすると、ウィンドウを閉じます。
-  ボタンがオフ (  ) のとき、バス選択ボタンをタップすると自動的にこのウィンドウを閉じます。
-  ボタンがオン (  ) のとき、バス選択ボタンをタップしてもこのウィンドウを閉じずに表示を維持します。
- ホーム画面右端のALL SEND (  ) ボタンをタップすると、SENDエリア (122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の㉔エリア) がMIX1-22バス / FX1-4バスへのすべてのSENDレベル表示に切り換わります。この表示をタップすると、タップしたエリアのバスが4つ表示された状態に切り換わります。





## PAN設定

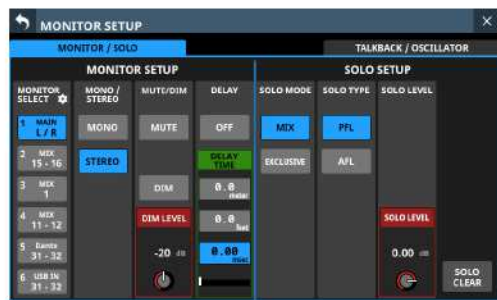
ホーム画面のPANエリア（122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の⑩エリア）をタップして選択枠を表示すると、LCDノブ（②）でPANの設定ができます。

## MUTEキー

MUTEキー（③）を押すと、MUTEのオン／オフを切り換えます。このキーがオン（キ一点灯）のとき、対応モジュールの信号がMUTEされます。

## SOLOキー

工場出荷時の設定では、SOLOキー（④）を押した複数のチャンネルモジュールの信号をミックスしてソロモニターできます。SOLOの設定は、メニュー画面 > Mixer Setupメニュー > Monitor/Solo Setup項目で表示するMONITOR SETUP画面で変更することができます。



## メモ

MENUキー（⑪）を押しながら以下のキーを押すと、MONITOR SETUP画面のMONITOR/SOLOタブ画面を呼び出すこともできます。

- MENUキー（⑪）を押しながら、いずれかのSOLOキー（④）を押す
- MENUキー（⑪）を押しながら、SOLO CLEARキー（⑭）を押す

## SELキー

チャンネルセクションのSELキー（⑤）またはマスターセクションのSELキー（⑯）を押すと、選択したチャンネルのMODULE画面に切り換わります。

MODULE画面上部の任意の画面選択ボタンをタップし、タッチスクリーン（①）やLCDノブ（②）を使って各種パラメーターを設定します。

## フェーダー

Sonicview 16の16本、Sonicview 24の24本のチャンネルフェーダーは、下記のバスへのSENDレベルを表示します。

- SENDS ON FADERキー（⑳）がオフ（キ一点灯）のときは、MAIN L/Rバス
- SENDS ON FADERキー（⑳）がオン（キ一点灯）のときは、選択したMIX SENDバス／FX SENDバス

LAYER KEYS 1-7キー（㉑）を使用してフェーダーの7つのレイヤーに移動し、それぞれのレベルを設定します。

MASTERフェーダー（㉒）は、選択したバスのマスター SENDレベルをコントロールします。

## Copy / Paste

MODULE画面右上の [≡] ボタンをタップすると、MODULEメニューをプルダウン表示します。

MODULEメニューでパラメーターのCopy / Pasteができます。Copy / Paste対象のパラメーターは、表示しているMODULE画面によって異なります。

選択したチャンネルモジュールのすべてのパラメーターをCopy / Pasteしたい場合は、このMODULEメニューのCopy MODULE / Paste MODULEを実施します。

## 出力端子のアサイン（Output Routing）

出力端子のルーティング設定を確認／変更するには、MIX 1-22モジュールのホーム画面上部のOUTPUTエリア（122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の①②エリア）をタップしてMODULE (OUTPUT) 画面に切り換えます。

MAIN L/Rの出力端子のルーティング設定を確認／変更するには、マスターセクションのSELキー（⑯）を押してMAIN L/RマスターモジュールのMODULE画面に切り換え、画面上部の画面選択ボタンの「OUTPUT」をタップして、MODULE (OUTPUT) 画面に切り換えます。



## FX設定

- FX RTN1-4モジュールのホーム画面上部のFXエリア（122ページ「ホーム画面での各種パラメーターの設定」の①②エリア）をタップして選択枠を表示すると、LCDノブ（②）を使って表示中のパラメーターを調節することができます。



- FXエリア（①）に選択枠が表示されている状態でタップすると、タップしたFX RTNモジュールのMODULE (FX) 画面に切り換わります。この画面でタッチスクリーン（①）やLCDノブ（②）を使って、FXパラメーターの設定やFX TYPEの切り換えができます。また、この画面からFXライブラリー画面が呼び出せます。また、この画面のLIBRARYボタンから呼び出すFX LIBRARY画面で、プリセットデータのRecallや、現在の設定のStoreをすることができます。



## Copy / Paste

MODULE画面右上の [≡] ボタンをタップすると、MODULEメニューをプルダウン表示します。

MODULEメニューでパラメーターのCopy / Pasteができます。Copy / Paste対象のパラメーターは、表示しているMODULE画面によって異なります。

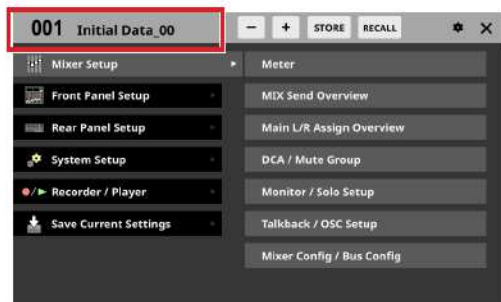
選択したチャンネルモジュールのすべてのパラメーターをCopy / Pasteしたい場合は、このMODULEメニューのCopy MODULE / Paste MODULEを実施します。

## Snapshot機能

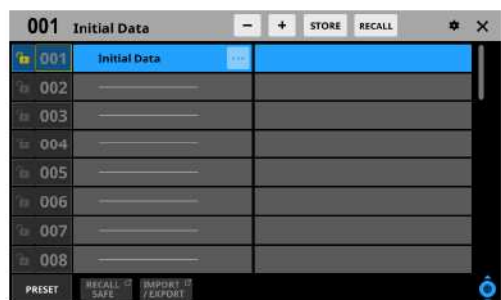
「Snapshot」は、ミキサーの信号処理やルーティングなどの設定を保存または呼び出すために使用します。

### SnapshotのSTOREとRECALL

1. MENUキー (⑪) を押して、メニュー画面を表示します。  
メニュー画面上部のSnapshot選択ボタン ( - / + ) で番号を選択し、RECALLボタンをタップして表示された番号の設定を呼び出す、またはSTOREボタンをタップして表示された番号に設定を保存することができます。



2. メニュー画面左上のSnapshot番号 / Snapshot名表示部をタップしてSnapshotリスト画面に切り換えます。  
リストをタップしてスロットを選択し、RECALLボタンをタップして選択したスロットの設定を呼び出す、またはSTOREボタンをタップして選択したスロットに設定を保存することができます。



3. Recall Safe設定で、Snapshot呼び出し時に保護される（変化しない）項目を設定します。  
Recall Safe設定を変更するには、Snapshotリスト画面のRECALL SAFEボタンをタップしてSNAPSHOT RECALL SAFE画面に切り換えます。
4. Snapshotのデータは、外部メモリからのインポート、外部メモリへのエクスポートも可能です。  
Snapshotデータをインポート／エクスポートするには、Snapshotリスト画面下部のIMPORT/EXPORTボタンをタップしてSNAPSHOT IMPORT/EXPORT画面に切り換えます。

## トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。

それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

### 電源がオンにならない

- 電源プラグなどがしっかりと差し込まれているか確認してください。

### 音が出ない

- 入出力のルーティングやバスアサインが正しく設定されていますか？
- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。
- モニターソースが正しく選択されていますか？
- チャンネルフェーダーは、適正なレベルまで上がっていますか？
- MASTERフェーダーは、適正なレベルまで上がっていますか？
- PHONESボリュームまたはMONITOR OUTボリュームが適正なレベルまで上がっていますか？
- 各チャンネルのMUTEキー (③) やSOLOキー (④) がオンになっていませんか？

### 雑音がする

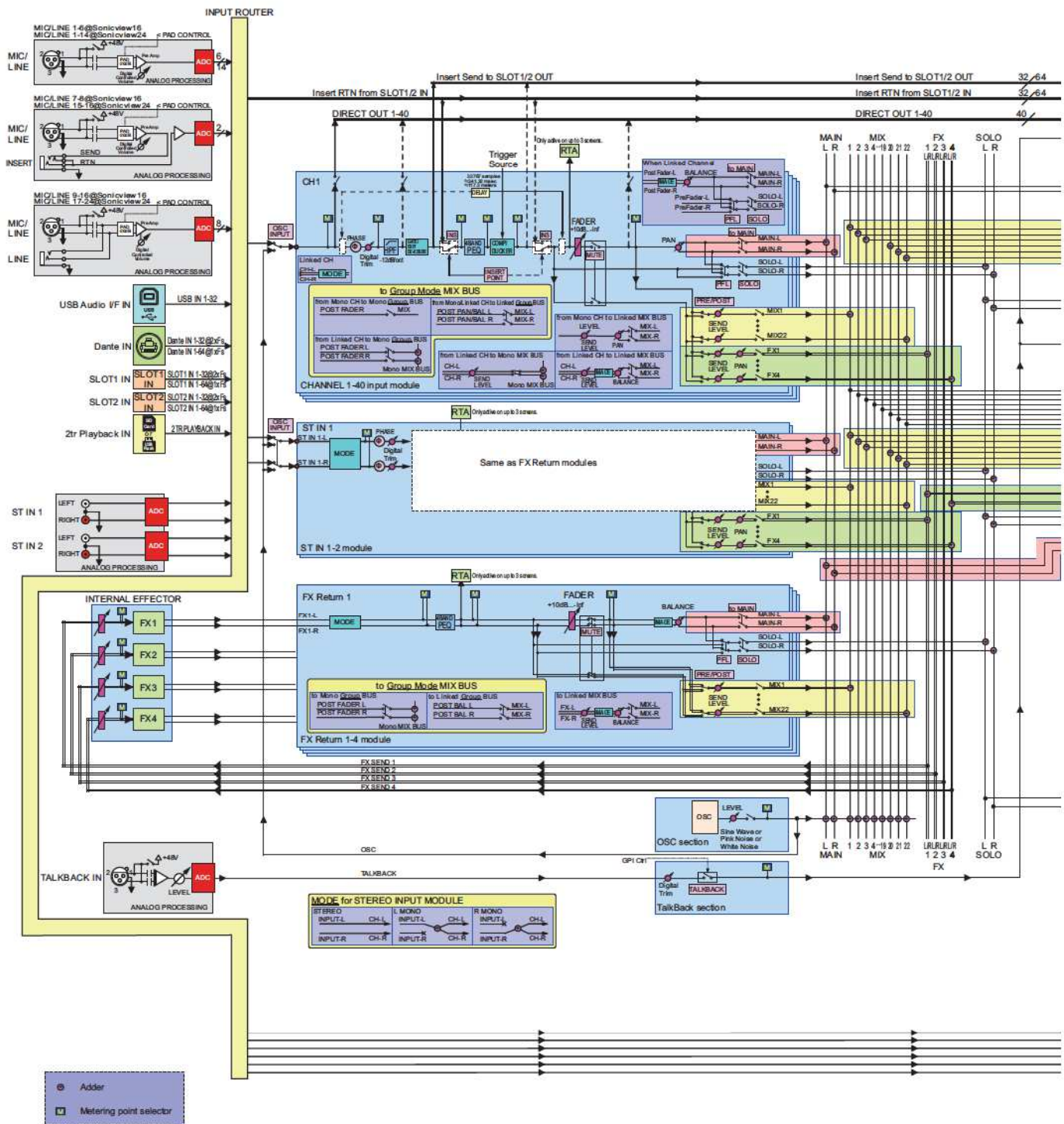
- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

### 設定を変えたのに記憶されていない

本機では、1分間隔で設定の保存を行っています。  
電源を切るタイミングによっては、保存を失敗してしまう場合がありますので、電源を切る前にメニュー画面のSave Current Settings項目で現在の設定を内蔵メモリに保存してください。

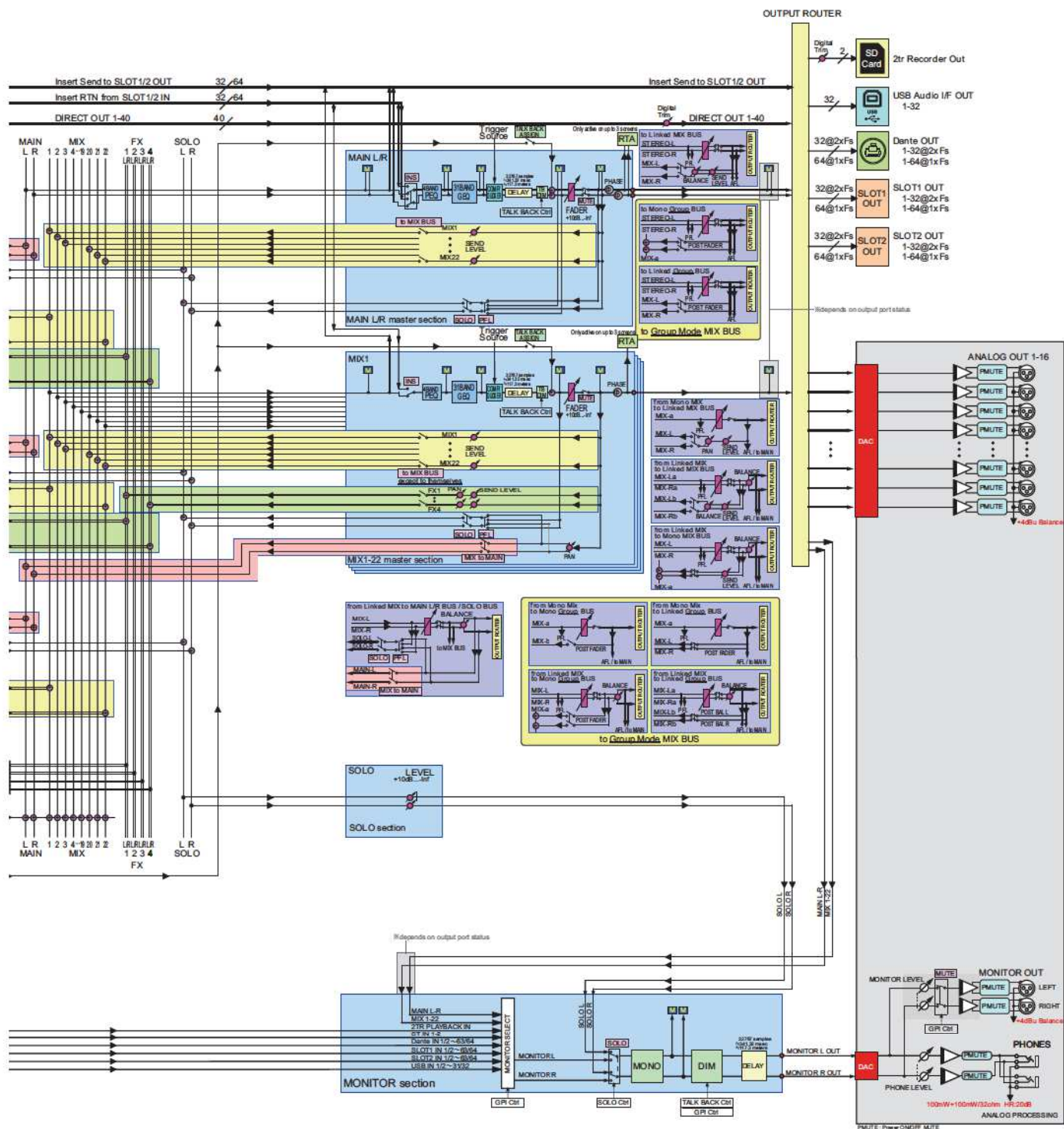


# Block diagram / Schéma fonctionnel / Diagrama de bloques



- [NOTE]
- Supported Sync Clock Fs : 96kHz / 48kHz
  - Support 8 DCA Groups and 8 Mute Groups
  - Do not connect both the XLR and 1/4" Line input on the same channel.
  - Comp/Ducker Key-in Trigger Source : SELF, CH1-40 Pre Comp, MIX1-22 Pre Comp, MAIN L/R Pre Comp

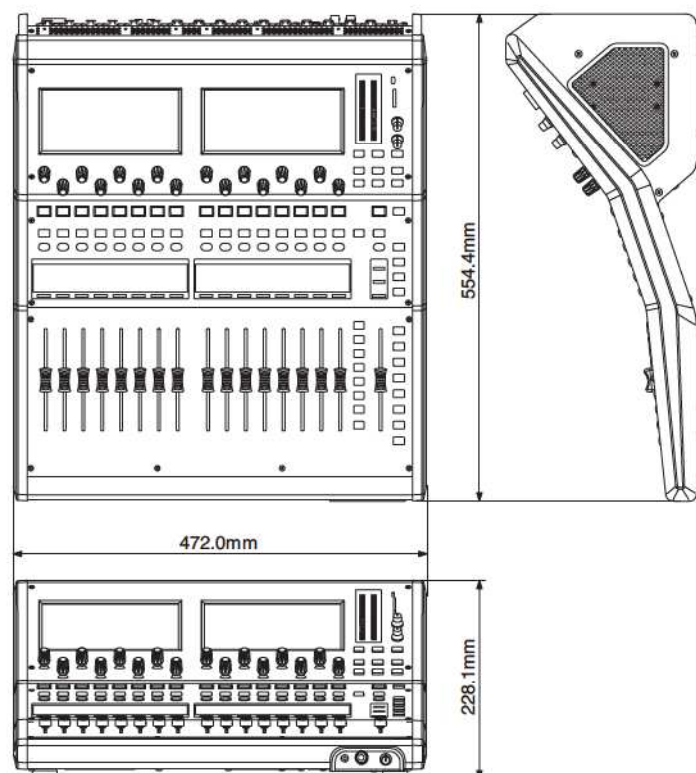
## Blockdiagramm / Schema a blocchi / ブロックダイアグラム



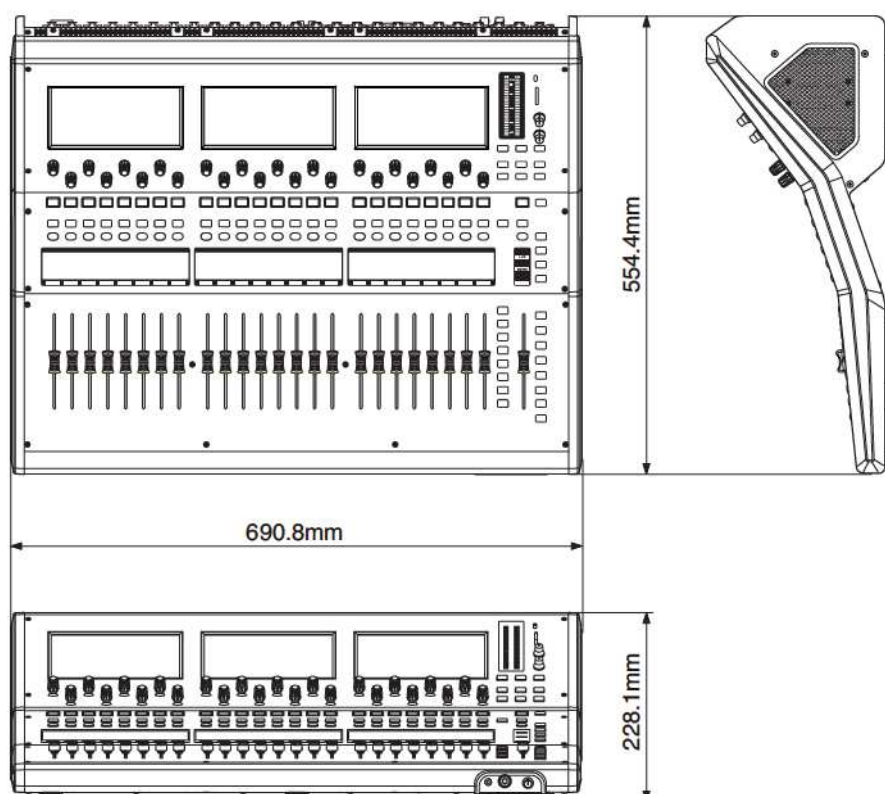


# Dimensional drawings / Dessins avec cotes Esquema de dimensiones / Maßzeichnung Dimensioni / 寸法図

## Sonicview 16



## Sonicview 24



## 仕様／定格

### オーディオ性能

OdBu=0.775Vrms

### マイクアンプEIN（入力換算雑音）

−128dBu以下

### 周波数特性

MIC/LINE IN→OUTPUT（アナログ）

20Hz - 20kHz : +0dB, −0.5dB (48kHz) (JEITA)

20Hz - 40kHz : +0dB, −1.0dB (96kHz) (JEITA)

### ダイナミックレンジ

108dB以上 (MIC/LINE IN→OUTPUT（アナログ）、PAD=オフ、  
A.Ref=+4dBu, GAIN=12, Clock Master=INT、  
JEITA)

110dB以上 (MIC/LINE IN→DANTE OUT、PAD=オフ、  
A.Ref=+4dBu, GAIN=12、JEITA)

112dB以上 (DANTE→OUTPUT（アナログ）、Clock Master  
=INT、JEITA)

### 歪率

0.002%以下 (MIC/LINE IN→OUTPUT（アナログ）、+4dBu  
入力時、PAD=オフ、A.Ref=+4dBu, GAIN=12、  
JEITA)

0.002%以下 (MIC/LINE IN→DANTE OUT、+4dBu入 力 時、  
PAD=オフ、A.Ref=+4dBu, GAIN=12、JEITA)

0.002%以下 (DANTE IN→OUTPUT（アナログ）、OdBFS  
入力時、JEITA)

### クロストーク

100dB以上 (MIC/LINE IN→OUTPUT（アナログ）、1kHzサ  
イン波、JEITA)

A.Ref : Analog Reference Level設定

### アナログオーディオ入出力定格

OdBu=0.775Vrms, OdBV=1Vrms

### MIC/LINE入力端子

Sonicview 16 : 1-16

Sonicview 24 : 1-24

コネクター : XLR-3-31相当 (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)  
入力レベル :

パッドオフ時

最大入力レベル : +12dBu (TRIM最小)

最小入力レベル : −62dBu (TRIM最大)

パッドオン時

最大入力レベル : +32dBu (TRIM最小)

最小入力レベル : −42dBu (TRIM最大)

入力インピーダンス : 5.0kΩ以上

#### メモ

+48Vのファントム電源をMIC/LINE入力端子ごとに供給可能  
です。

### LINE IN (BAL) 端子

Sonicview 16 : 9-16

Sonicview 24 : 17-24

コネクター : ϕ6.3mm (1/4") TRSフォンジャック  
(Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

入力レベル :

パッドオフ時

最大入力レベル : +12dBu (TRIM最小)

最小入力レベル : −62dBu (TRIM最大)

パッドオン時

最大入力レベル : +32dBu (TRIM最小)

最小入力レベル : −42dBu (TRIM最大)

入力インピーダンス : 5.0kΩ以上

### INSERT端子

Sonicview 16 : 7-8

Sonicview 24 : 15-16

コネクター : ϕ6.3mm (1/4") TRSフォンジャック  
(Tip : SEND, Ring : RETURN, Sleeve :  
GND)

#### RETURN (Ring)

最大入力レベル : +18dBu

規定入力レベル : −2dBu

入力インピーダンス : 5kΩ以上

#### SEND (Tip)

最大出力レベル : +18dBu

規定出力レベル : −2dBu

出力インピーダンス : 100Ω

### TALKBACK入力端子

コネクター : XLR-3-31相当 (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)

最大入力レベル : +10dBu

最小入力レベル : −65dBu

ゲイン調整範囲 : 0 ~ 55dB

入力インピーダンス : 5.0kΩ以上

#### メモ

+48Vのファントム電源を供給可能です。

### ST IN 1-2 L / R端子

コネクター : RCAピンジャック

最大入力レベル : +6dBV

規定入力レベル : −10dBV

ヘッドルーム : 16dB

入力インピーダンス : 10kΩ以上

### OUTPUT 1-16端子

コネクター : XLR-3-32相当 (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)

出力インピーダンス : 100Ω

規定出力レベル :

+6dBu (D.Ref : −9dBFS, A.Ref : +6dBu)

+4dBu (D.Ref : −14 / −16 / −18 / −20dBFS,  
A.Ref : +4dBu)

OdBu (D.Ref : −18 / −20dBFS, A.Ref : OdBu)

最大出力レベル :

+15dBu (D.Ref : −9dBFS, A.Ref : +6dBu)

+18dBu (D.Ref : −18dBFS, A.Ref : OdBu)

+20dBu (D.Ref : −20dBFS, A.Ref : OdBu)

+18dBu (D.Ref : −14dBFS, A.Ref : +4dBu)

+20dBu (D.Ref : −16dBFS, A.Ref : +4dBu)

+22dBu (D.Ref : −18dBFS, A.Ref : +4dBu)

+24dBu (D.Ref : −20dBFS, A.Ref : +4dBu)

D.Ref : Digital Reference Level設定

A.Ref : Analog Reference Level設定



## MONITOR OUT L / R端子

コネクター：XLR-3-32相当 (1：GND、2：HOT、3：COLD)  
最大出力レベル：+24dBu  
規定出力レベル：+4dBu  
出力インピーダンス：100Ω以下

## PHONES端子

コネクター：φ6.3mm (1/4") ステレオフォンジャック、  
φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック  
最大出力：100mW + 100mW  
(32Ω負荷、片側ジャックのみに接続時)

## デジタルオーディオ入出力定格

### Dante PRIMARY / SECONDARY端子

コネクター：etherCON互換コネクター\*  
伝送プロトコル：Dante  
Gigabit Ethernet規格：1000BASE-T (IEEE 802.3ab)  
ケーブル：カテゴリ 5e以上のSTPケーブル  
\* etherCONは、Neutrik AGの登録商標です。

### USBオーディオ

サンプリングレート：48kHz、96kHz  
量子化ビット数：32bit  
入力数：32チャンネル (本機への入力)  
出力数：32チャンネル (本機からの出力)

## コントロール入出力定格

### FOOTSWITCH端子

コネクター：φ6.3mm (1/4") TSフォンジャック  
(Tip：Hot、Sleeve：GND)

### ETHERNET端子

コネクター：RJ-45  
対応規格：100BASE-TX、1000BASE-T

### GPIO端子

コネクター：D-sub 25ピン  
(8イン / 8アウト、メス型インチ規格)

## その他の入出力定格

### USB端子 (トップパネル)

コネクター：USB Type-C  
プロトコル：USB2.0 HIGH SPEED (480Mbps)

### USB端子 (リアパネル)

コネクター：USB Type-B  
プロトコル：USB2.0 HIGH SPEED (480Mbps)

### LAMP端子

コネクター：XLR 4pin メス (4pin：+12V、3pin：GND)  
供給電圧：0V ~ +12V  
最大電力：5W

### WORD IN端子

コネクター：BNCコネクター  
入力レベル：0.5V ~ 5V p-p  
入力インピーダンス：75Ω ± 10% (終端抵抗オン) \*  
入力周波数：48k/96kHz  
許容周波数偏差：±100ppm

\* 終端抵抗のオン / オフ切り換えは、124ページ「マスタークロックとワード端子の設定」を参照。

### WORD THRU/OUT端子\*

コネクター：BNCコネクター  
出力レベル：5V TTL相当  
出力周波数：48k/96kHz

\* スルー / ワード出力の切り換えは、124ページ「マスタークロックとワード端子の設定」を参照。

## レコーダー / プレイヤー部仕様

### 記録メディア

SDHCカード (8GB ~ 32GB、Class10以上)  
SDXCカード (64GB ~ 128GB、Class10以上)  
USBメモリー (8GB ~ 128GB、再生のみ)

### メモ

本機にて動作が確認されたSDカードのリストが、TASCAMのウェブサイトに掲載されています。本機の製品ページをご参照ください。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

Sonicview 16

[https://tascam.jp/int/product/sonicview\\_16/docs](https://tascam.jp/int/product/sonicview_16/docs)

Sonicview 24

[https://tascam.jp/int/product/sonicview\\_24/docs](https://tascam.jp/int/product/sonicview_24/docs)

### 対応ファイルシステム

SDHCカード：FAT32  
SDXCカード：exFAT  
USBメモリー：FAT32/exFAT

### 録音再生フォーマット

#### WAV/BWF

録音：48k/96kHz、24bit、2ch  
再生：48k/96kHz、16/24bit、2ch

#### MP3

再生：44.1k/48kHz 32k ~ 320kbps、2ch

#### AAC

再生：44.1k/48kHz 64k ~ 320kbps、2ch

## 一般

### 電源

AC100-240V、50/60Hz

### 消費電力

Sonicview 16 : 65W

Sonicview 24 : 85W

### 外形寸法

Sonicview 16 : 472.0 x 228.1 x 554.4mm

Sonicview 24 : 690.8 x 228.4 x 554.4mm

(幅 x 高さ x 奥行き)

### 質量

Sonicview 16 : 13kg

Sonicview 24 : 18kg

### 動作温度

0 ~ 40℃

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30 ~ 17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

### リファレンスマニュアルに関して

取扱説明書(本書)では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

Sonicview 16

[https://tascam.jp/int/product/sonicview\\_16/docs](https://tascam.jp/int/product/sonicview_16/docs)

Sonicview 24

[https://tascam.jp/int/product/sonicview\\_24/docs](https://tascam.jp/int/product/sonicview_24/docs)